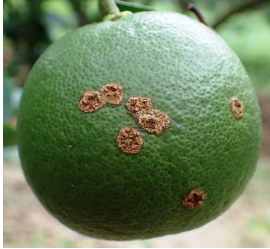
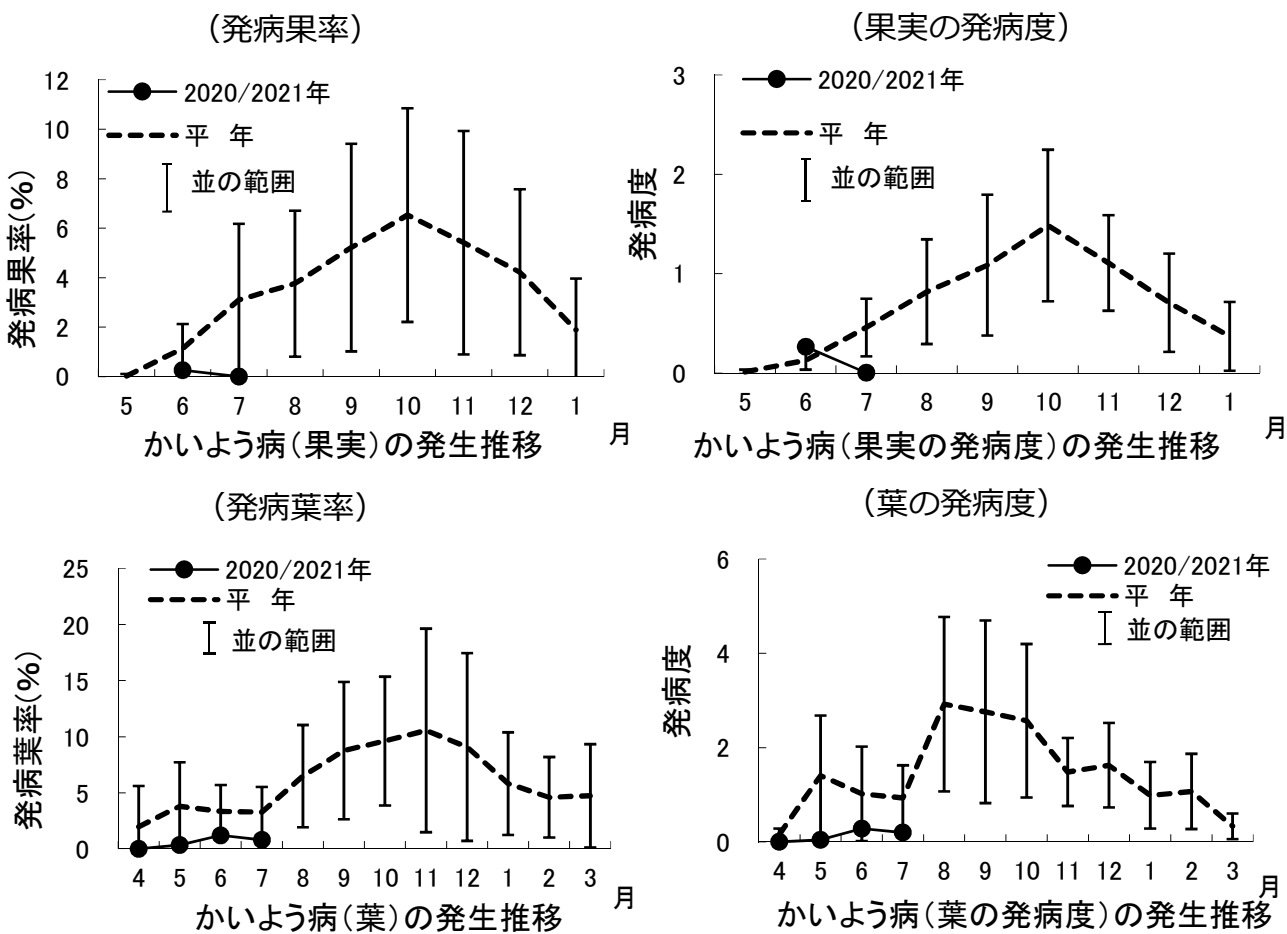


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果




防除のポイント

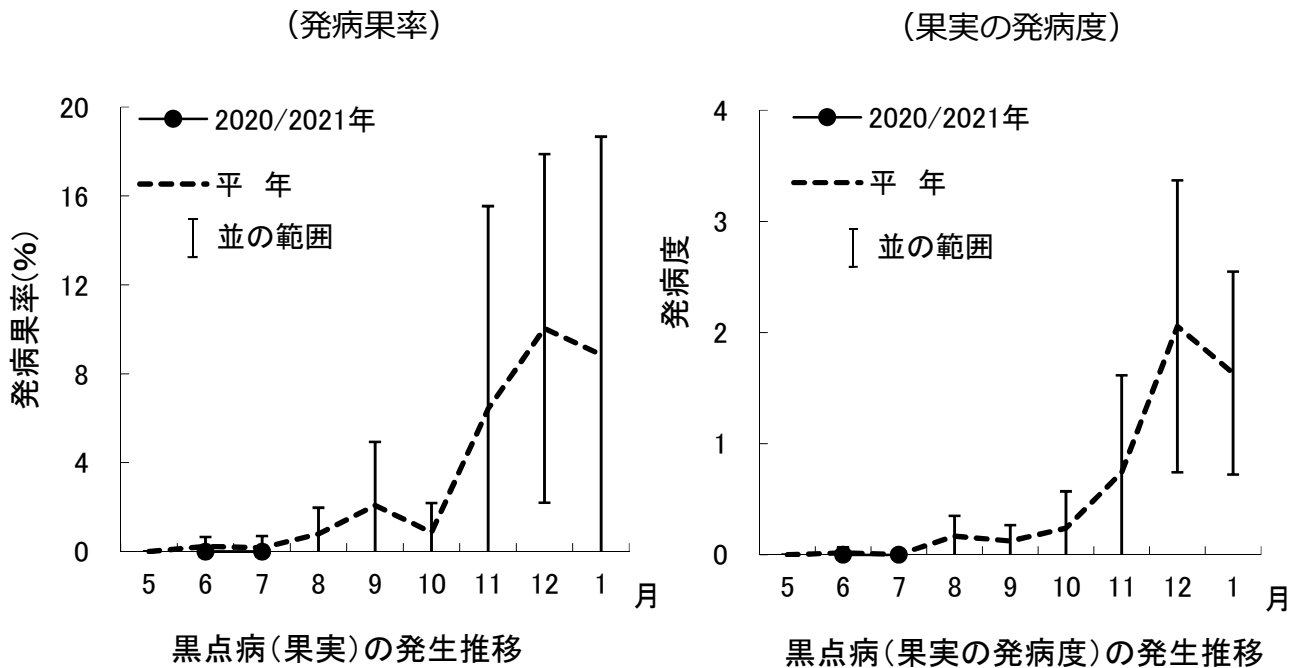
- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	


調査結果



- ・ 発生ほ場率：0%（平年値：4.8%）

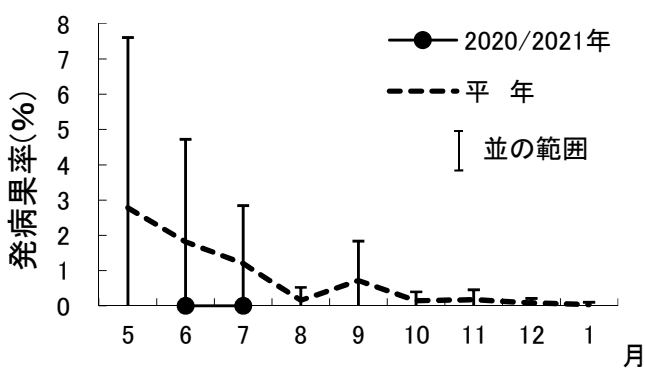
防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		今後 1 か月の降水量が平年並の見込み	

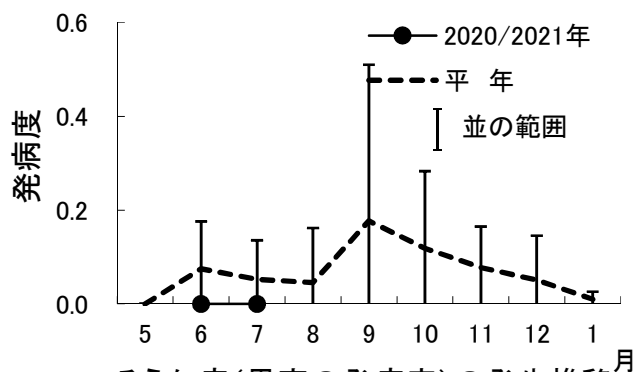
調査結果

(発病果率)



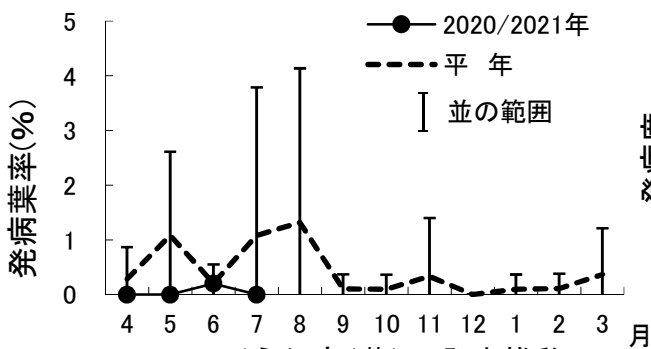
そうか病(果実)の発生推移

(果実の発病度)



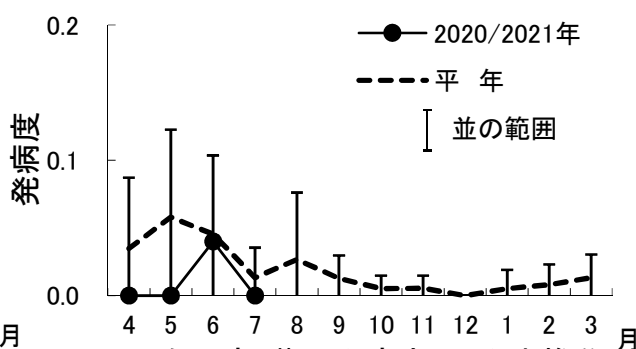
そうか病(果実の発病度)の発生推移

(発病葉率)



そうか病(葉)の発生推移

(葉の発病度)




そうか病(葉の発病度)の発生推移

防除のポイント

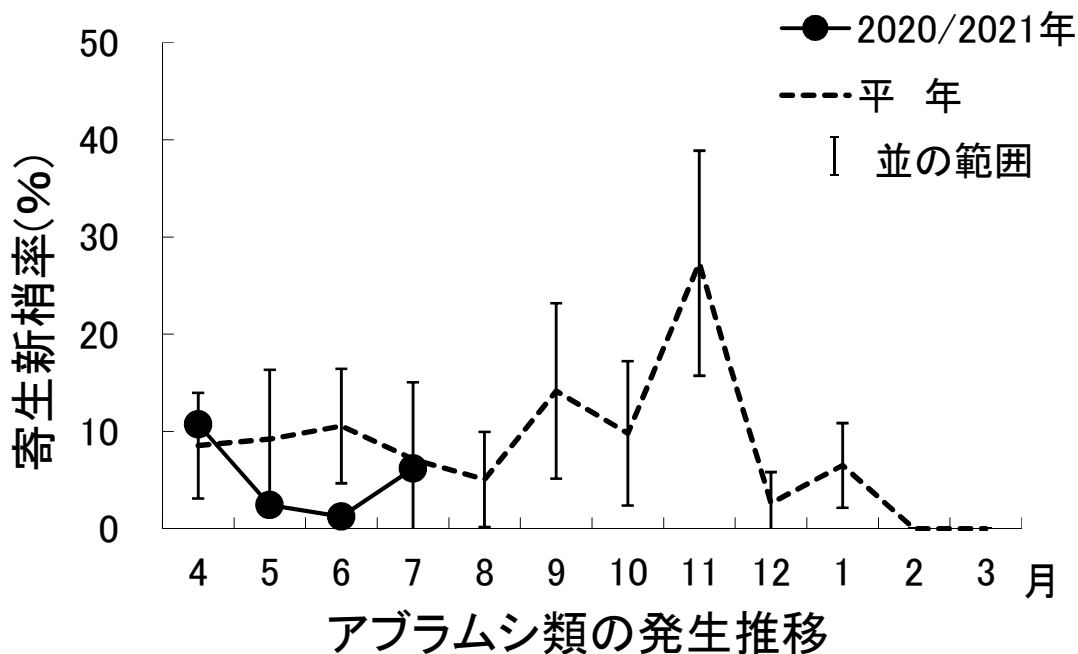
- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果



・ 発生ほ場率：40%（平年値：42.9%）

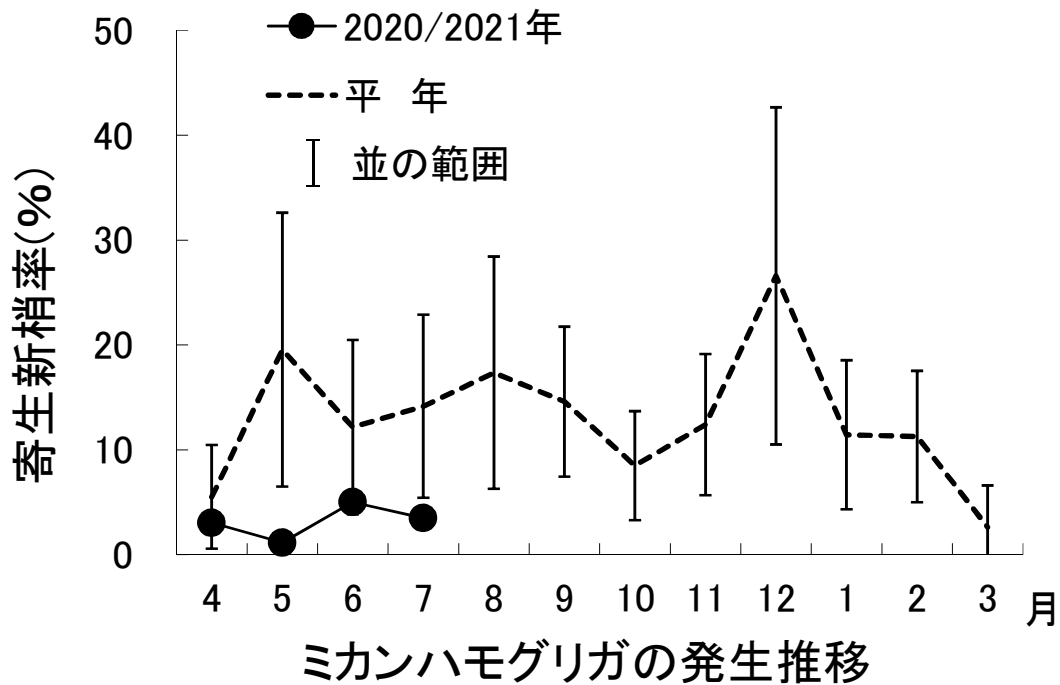
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモグリガ		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	やや少	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	


調査結果



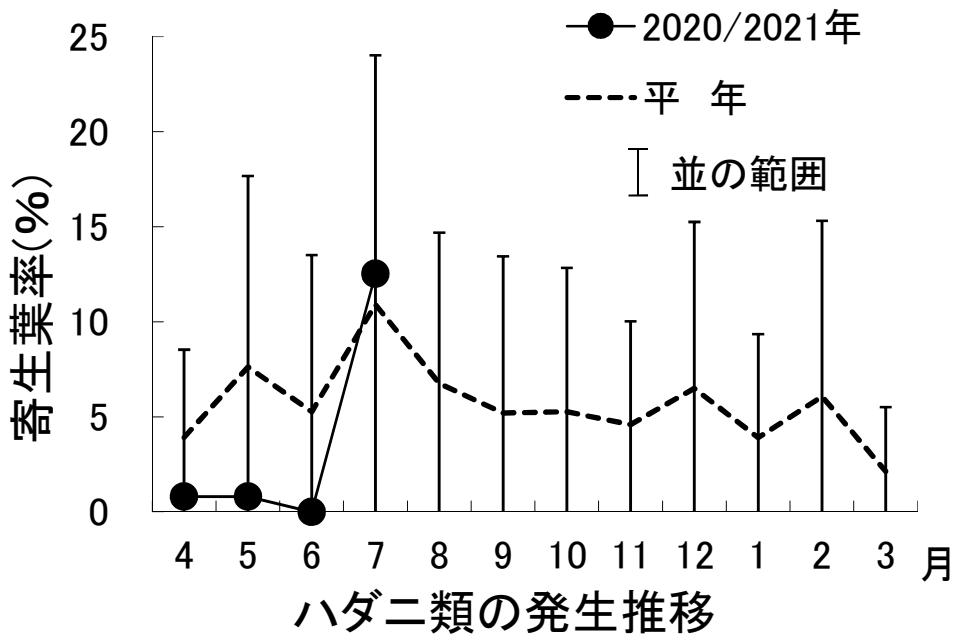
・ 発生ほ場率：40%（平年値：81.3%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダニ類		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↓	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果



・ 発生ほ場率：20%（平年値：39%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状